

放医研・重粒子がん治療で 脊椎肉腫に良好な結果 52%の生存率、副作用なく

放射線医学総合研究所は十三日、手術による切除が不可能な脊椎肉腫四十七症例で、重粒子線治療による良好な生存率が得られたとする研究結果を発表した。これは、一九九六～二〇一一年に重粒子線治療を受けた患者

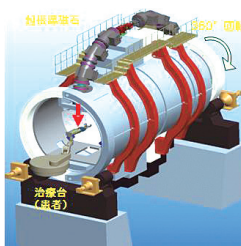
について、治療の有効性、安全性を評価するため解析を行ったもので、今回の調査結果により、これまで完治の見込まれなかった患者に対し、有望な治療の選択肢が提供できるとともに、治療後も生活の質の維持が期待される。

脊椎肉腫に対しては、手術による切除が第一選択となるが、病巣の場所や患者の状態によっては、手術できないこともある。一方、重粒子線治療は、肉腫に高い線量をピンポイントで照射でき、正常組織への影響を少なく抑えられるため、治療後の患者の生活の質を維持で

きる可能性も高い。今回の調査では、切除不能な脊椎肉腫四十七症例(四十八病巣)に対する治療成績と副作用について解析したところ、治療してから五年目まで、重粒子線治療を行った場所に、がんが再発し

なかった割合は七九%、五年生存率は五二%だった。生命に関わる重篤な副作用もなく、最近の診断では、二十八例の生存例のうち、二十二例は杖なしでも歩行できるなど、良好な治療成績が得られているとされている。

「重粒子がん治療照射機器を受注」と呼ばれる装置本体と搭載機器、スカラーーム型治療台を始めとする室内機器で、放医研の新治療研究棟に新たに設置される。納入は二〇一五年三月の予定となっている。



重粒子線治療装置のイメージ。患者を治療台に載せ、スカラーーム型治療台で治療を行う。

東芝は二日、放射線医学総合研究所より、世界初となる超伝導磁石を採用した重粒子線がん治療用照射システム(IIイオン)を受注したと発表した。今回、受注したのは、既設のビームラインを延長するビーム輸送系機器、「回転ガン」

「回転ガン」は、粒子線を輸送するための電磁石を搭載した回転構造体で、患者を中心に三百六十度回転し、重粒子線を任意の方向から照射

ふくしまオルガン堂 下北沢 食の販売・交流・体験

原子力災害発生から二年半、被災地域の農家に打撃は深刻だ。食と農の再生を目指し、福島県有機・減農薬農産物や特産品の販売と食の提

供、交流・体験の窓口、さらには、東京に避難している被災地住民の集う場ともなっている店が、東京の若者の街・下北沢にある。

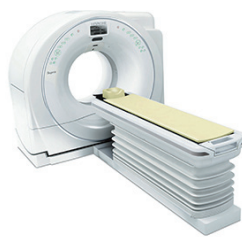
「ふくしま定食」(要予約)の他、地酒、地ビール、有機にんじんジュース、桑の葉茶など、飲み物も堪能できる。また、旬の野菜や果物、米、ドレッシング、野菜ジュース、ジャム、味みそなど

は、店内販売しており、

自宅でも楽しめる。食材はすべて、放射能測定を行って安全を確認済み。「ふくしまオルガン堂 下北沢」の場所は、東京都世田谷区代沢4-44-2、電話03-3411-7205、営業時間は十二時～十八時、月・火曜が定休。

細な画像を得るなど性能向上をはかった。

日立メテックは二十日、先進技術を搭載したオープン&コンパクトな十六列マルチスライスCT装置「Supria」(II写真)を発売すると発表した。



日立メテックが開発した十六列マルチスライスCT装置「Supria」。

の開口径(七十五cm)というオープンデザインを実現しながら、ガントリ

日本原子力産業協会は八、九日、中部原子力懇談会と共同で、中学校理科教育関係者らの研究会が開催した全国レベルの大会で、霧箱による放射線飛跡観察、紫外線を使ったレントゲン撮影模

シェールガス革命は救世主になりうるか?

シェールガス革命により、低廉なLNGの輸入に期待が集まっている。確かに輸入を進めることは良いことだ。輸入価格の下落効果も見込めるが、現実にはこれだけの効果が期待できるか冷静に分析する必要がある。

シェールガス革命の本への影響を分析する日本エネルギー経済研究所の柳澤明研究主幹は、こう指摘する。

最近同氏がまとめた「シェールガス輸入による価格リスクの低減効果の分析」では、現実問題として価格、輸入数量の両面で日本のエネルギー事情を早急に変えていく

「回転ガン」は、粒子線を輸送するための電磁石を搭載した回転構造体で、患者を中心に三百六十度回転し、重粒子線を任意の方向から照射

「回転ガン」は、粒子線を輸送するための電磁石を搭載した回転構造体で、患者を中心に三百六十度回転し、重粒子線を任意の方向から照射

「回転ガン」は、粒子線を輸送するための電磁石を搭載した回転構造体で、患者を中心に三百六十度回転し、重粒子線を任意の方向から照射

「回転ガン」は、粒子線を輸送するための電磁石を搭載した回転構造体で、患者を中心に三百六十度回転し、重粒子線を任意の方向から照射

「回転ガン」は、粒子線を輸送するための電磁石を搭載した回転構造体で、患者を中心に三百六十度回転し、重粒子線を任意の方向から照射

「回転ガン」は、粒子線を輸送するための電磁石を搭載した回転構造体で、患者を中心に三百六十度回転し、重粒子線を任意の方向から照射

「回転ガン」は、粒子線を輸送するための電磁石を搭載した回転構造体で、患者を中心に三百六十度回転し、重粒子線を任意の方向から照射

「回転ガン」は、粒子線を輸送するための電磁石を搭載した回転構造体で、患者を中心に三百六十度回転し、重粒子線を任意の方向から照射

「回転ガン」は、粒子線を輸送するための電磁石を搭載した回転構造体で、患者を中心に三百六十度回転し、重粒子線を任意の方向から照射

「回転ガン」は、粒子線を輸送するための電磁石を搭載した回転構造体で、患者を中心に三百六十度回転し、重粒子線を任意の方向から照射

「回転ガン」は、粒子線を輸送するための電磁石を搭載した回転構造体で、患者を中心に三百六十度回転し、重粒子線を任意の方向から照射

合同企業説明会 「原子力産業セミナー2015」参加企業募集中!

— 学生に御社の事業をPRしませんか? —

【開催日時/場所】
 ○東京会場: 2014年1月12日(日)10:00~16:00 TFT(東京ファッションタウン)「HALL1000」
 ○大阪会場: 2013年12月22日(日)10:00~16:00 新梅田研修センター「G・Lホール」

◆募集内容: 2015年卒の理工系の大学生・大学院を主な対象とした各企業による採用活動ブース
 ◆募集期間: 平成25年10月4日まで
 ◆参加費用: 小ブース15万円、中ブース30万円、大ブース50万円(消費税込)

●申込み・問合せ先 (一社)日本原子力産業協会 人材育成部 上田・津留 電話: 03-6812-7101 FAX: 03-6812-7110 e-mail: nis2015@jaif.or.jp

前回の原子力産業セミナーの会場風景